

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231510 子ども発達支援課施設管理係
事務事業 02920 (仮称) 子ども発達支援センター整備事業

所属長名 都築 里美
担当者 松浦 優
電話番号 0566-77-77795

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目(施策)	001	17子育て			
施策の方針	006	子ども発達支援センター			
事務事業	006	(仮称) 子ども発達支援センター整備事業			
事業期間	平成27年度～平成31年度	5	年間		
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	普通建設事業費
健全事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	安城市子ども・子育て支援事業計画、安城市障害者福祉計画				
備考					

【事業分析】

対象	発達に心配や遅れのある子どもや親が
目的	相談、発達支援、療育、通園などのサービスが一元化され利用しやすくなります。
手段	保健センター、療育センター、教育センター、サルビア学園、社会福祉会館の施設を集約します。
事務内容	基本設計、実施設計の策定、建設工事の委託。発達相談などの各種事業の実施案の策定。

【コスト】

(単位：千円)

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	988,544	67,415
事業費	0	975,944	63,635
国庫支出金	0	85,540	0
県支出金	0	630,000	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	260,404	63,635
人件費計	0	12,600	3,780
正規(人)	0.00	2.00	0.60
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		工事発注、契約。各種事業の実施内容の確定。	外構工事完了。サルビア学園、やまびこルームの移転。相談など各種事業の実施。

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231510 子ども発達支援課施設管理係
事務事業 02920 (仮称) 子ども発達支援センター整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
整備進捗率	%	0.00 0.00	94.00 94.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	児童発達支援センターや相談支援事業を実施します		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	早期療育が必要な子どもは一定数存在します		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画どおり主体工事を完了しました		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	旧中央図書館である既存施設の改修計画としました		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	既存施設を集約し一か所で効率的に事業を実施します		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	旧中央図書館を改修し、子ども発達支援センターあんステップ♪を整備します。平成29年度は主体工事を完了し、外構工事に着手しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月17日
13時37分54秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231530 子ども発達支援課療育係
事務事業 02481 障害児療育指導事業

所属長名 都築里美
担当者 鈴木治栄
電話番号 0566-77-7912

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	005 こども				
項目（施策）	001 17子育て				
施策の方針	006 子ども発達支援センター				
事務事業	003 障害児療育指導事業				
事業期間	平成3年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト	○	地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	児童福祉法、知的障害者福祉法				
備考					

【事業分析】

対象	子どもの心身の発達に不安のある親とその子どもが、
目的	適切な援助・指導を受けられます。
手段	子どもの心身の発達に不安のある親とその子どもが、地域の中で安心して生活するための相談や療育支援をします。
事務内容	親子グループ指導（1～3歳程度の乳幼児、0～5歳の未歩行児及び重症心身障害児）、就園後の療育支援、親子行事（遠足、七夕会、クリスマス会など）

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	46,872	49,431
事業費	0	21,672	24,231
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	21,672	24,231
人件費計	0	25,200	25,200
正規（人）	0.00	4.00	4.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		集団療育・親子遊びの 実施回数 577回 専門相談（発達・言語 相談 計475回）	集団療育・親子遊びを 実施します。

事務事業評価シート (2/2)

2頁
平成30年 8月17日
13時37分54秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231530 子ども発達支援課療育係
事務事業 02481 障害児療育指導事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
療育訓練参加者数	人	0.00	200.00	200.00
		0.00	258.00	0.00
療育訓練参加者数／療育訓練希望者数	%	0.00	100.00	100.00
		0.00	100.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	早期療育が必要なため実施しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	早期療育が必要な子どもは一定数存在します		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	療育相談・支援を希望される方は全て応じています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	参加人数に応じてクラス編成し、効率的に実施しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	必要な療育相談・支援を実施しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	心身に何らかの問題や障害を持つ子とその親の療育相談及び集団・療育指導を行います。早期療育が必要な方は増加傾向にありますが、子ども発達支援センターあんステップの開所に伴いグループ室増設を実施しました。療育を希望される方が適切な療育指導を受けられるように体制を整備していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月17日
13時38分13秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231540 子ども発達支援課通所係
事務事業 02480 サルビア学園事業

所属長名 都築里美
担当者 中谷則子
電話番号 0566-77-7797

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	006	子ども発達支援センター			
事務事業	002	サルビア学園事業			
事業期間	昭和50年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト	○	地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	児童福祉法				
備考					

【事業分析】

対象	知的障害のある幼児が、
目的	適切な療育支援を受けることができる環境を整備します。
手段	知的障害のある幼児を日々保護者のもとから通園させ、保護するとともに、日常生活に必要な基本的事柄を身につけられるよう指導育成し、社会生活への適応能力を養うことを目的としています。
事務内容	園児（知的障害等のある概ね3歳から就学前までの幼児）の日々の療育、入園児童の受付・決定事務、遠足・運動会・クリスマス会などの親子行事、地域交流サルビアまつりなど

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	121,534	127,853
事業費	0	58,534	58,553
国庫支出金	0	19,355	0
県支出金	0	9,678	0
地方債	0	0	0
その他	0	5,324	58,553
一般財源	0	24,177	0
人件費計	0	63,000	69,300
正規（人）	0.00	10.00	11.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		4月49人（新入20人） 途中入園 3人 年間実人数 52人 移行・卒園児 31人	4月47人（新入26人）

事務事業評価シート（2/2）

2頁
平成30年 8月17日
13時38分13秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231540 子ども発達支援課通所係
事務事業 02480 サルビア学園事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
サルビア学園待機児童数	人	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法律に基づいて実施しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	支援の必要な子どもは一定数存在します		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	支援の必要な子どもを受け入れています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な運用が出来るよう努力しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法律に基づいて実施しています		

【1次評価結果】	
事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	あんステップ開所に伴い、定員を40人から50人に変更し、支援を必要とする児童の増加に対応します。また、新規に保育所等訪問支援事業を実施し、新たな需要に対応できるように体制を整備していきます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。